

# 投融资先の温室効果ガス排出量の計測と これを用いたエンゲージメントの取組み

2023年8月7日



十六フィナンシャルグループ

# 目次

## ポートフォリオカーボン分析支援事業について

1. 支援事業に参加した目的
2. ファイナンスドエミッションの算定結果
3. コンサルティング先の検証
4. 支援事業から得られた気づき

## 実際の開示とエンゲージメントの取組みについて

5. 2023年の開示に向けた取組み
6. 2023年の開示内容
7. これまでのエンゲージメント
8. エンゲージメントの進化
9. 今後の取組み

ポートフォリオカーボン分析支援事業について

# 1. 支援事業に参加した目的

## 4つの目的

- ファイナンスドエミッションの計測手法について理解し、ポートフォリオカーボンリスクの全体像を把握する
- ファイナンスドエミッションの分析結果から、脱炭素化に向けて優先的にエンゲージメントを実施するセクターを特定する
- これまで「脱炭素コンサルティング」を提供してきた先が、ファイナンスドエミッションの観点から、優先的にエンゲージメントを実施すべきセクターと整合しているかを検証する
- 取引先とのエンゲージメントに向けて、アプローチの手法や社内体制の整備などを検討し、今後の方針を明確にする

## 2. ファイナンスドエミッションの算定結果

### トップダウン分析とボトムアップ分析の統合

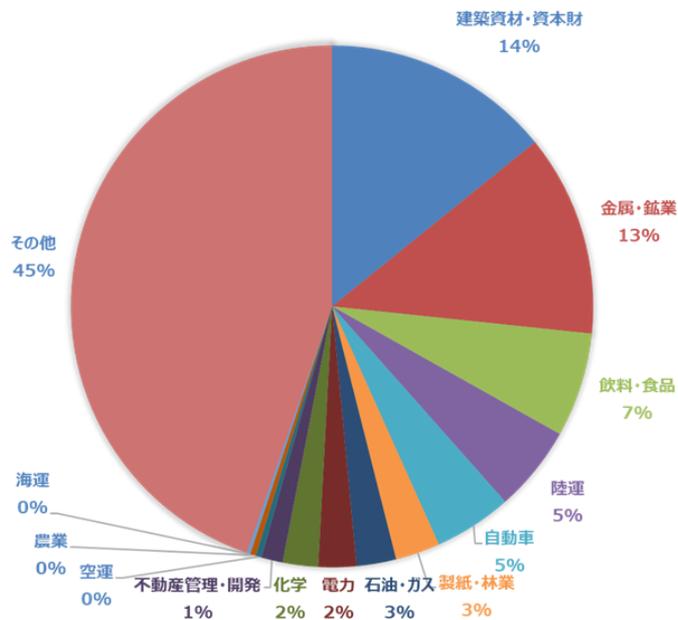
建築資材・資本財、金属・鉱業、飲料・食品のファイナンスドエミッションの割合は、融資額構成比に対して大きく、高炭素セクターであることが読み取れる

### TCFD14セクター別のファイナンスドエミッション、融資額の構成割合

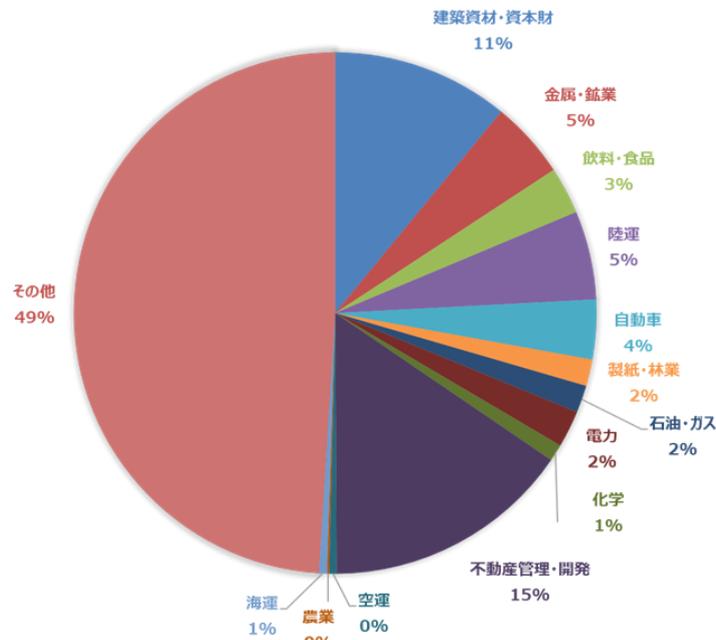
(単位：t-CO<sub>2</sub>)

(単位：百万円)

ファイナンスドエミッションのセクター別内訳



融資額のセクター別内訳



# 3. コンサルティング先の検証

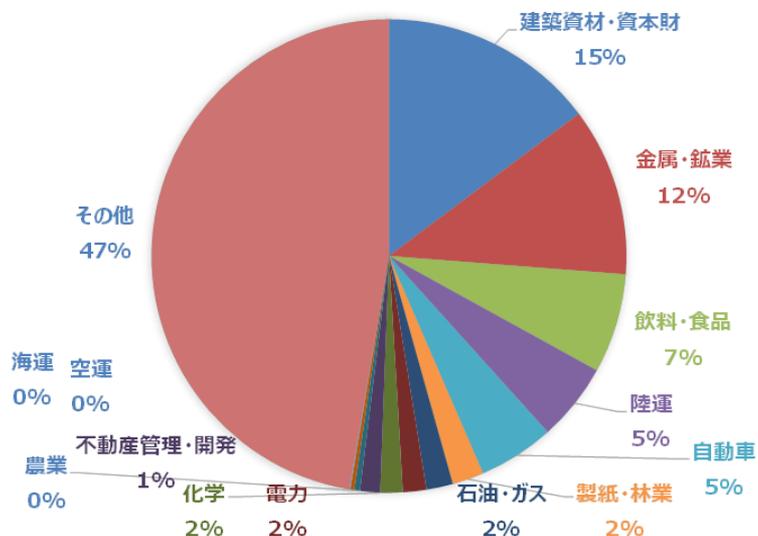
## コンサルティング先の検証

セクター別のFEの割合を全体（東京・大阪除く）とコンサルティング先で比較したところ、建築資材・資本財、金属・鉱業、飲料・食品、陸運、自動車が、全体では44%に対し、コンサルティング先では68%を占め、コンサルティングが進んでいることが読み取れる

TCFD14セクター別のFEの構成割合（全体、コンサルティング先、東京・大阪を除く）

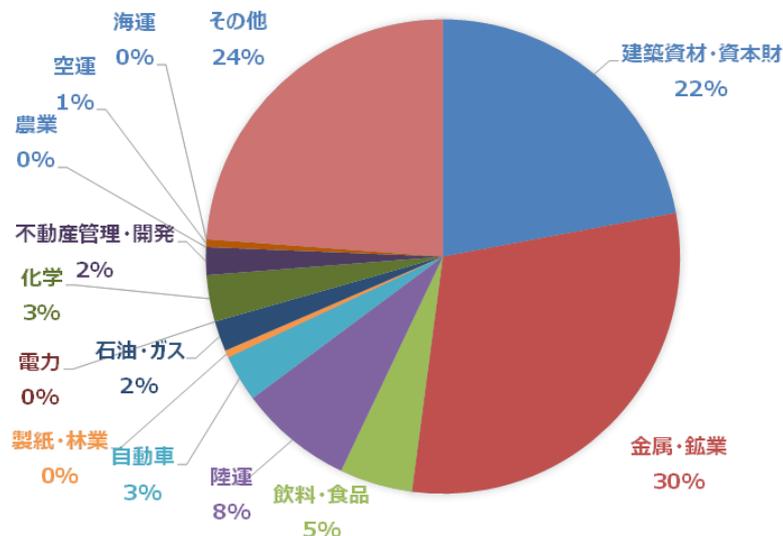
(単位：t-CO<sub>2</sub>)

FEのセクター別内訳（全体）



(単位：t-CO<sub>2</sub>)

FEのセクター別内訳（コンサルティング先）



## 4. 支援事業から得られた気づき

### ポートフォリオカーボン分析について

- 取引先の排出量データをいかに効率的に収集するか、中小企業の排出量の開示をどのように増やしていくかが課題である
- ファイナンスドエミッションの上位セクターは融資額構成比よりもファイナンスドエミッションの割合が高くなっており、優先的にエンゲージメントを実施すべきセクターであると考えられる

### コンサルティング先の検証について

- これまでコンサルティングを提供した取引先は「建築資材・資本財」「金属・鉱業」に分類される製造業などが中心であったが、ファイナンスドエミッションの上位セクターと一致していることが確認できた
- ファイナンスドエミッションの割合から見ると、コンサルティング先上位2セクターで過半を占め、高炭素セクターへ効率よくアプローチできていることが検証できた

実際の開示とエンゲージメントの取組みについて

# 5. 2023年の開示に向けた取組み

## 開示に向けた具体的な取組み

- ポートフォリオカーボン分析支援事業を通じて習得した算定手法に基づき、貸出先に関する財務データやセクター分類データなどをあらかじめ整理
- 2023年3月にPCAFに加盟し、PCAFのデータベースを活用した排出量の推計ができるよう準備
- 貸出先の排出量データを収集
  - 上場企業等で開示データのある先 … 企業開示データを収集
  - 中小企業等、開示データのない先 … PCAFデータベースより推計
- 関連部署との連携・情報共有と、開示に向けた役割分担などの社内体制整備
- 経営陣への説明と開示内容の承認

# 6. 2023年の開示内容

## 投融資先の排出量 (ファイナンスドエミッション)

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 対象アセット                      | 国内法人向け貸出 (財務データ不足先は除く)  |
| CO2排出量の算定方法                 | <p>CO2排出量 = <math>\Sigma</math> (各貸出先の排出量 × 当社グループの貸出の寄与度)</p> <p>* 各貸出先の排出量は企業開示データ、CDPデータ等を使用。データが取得できない場合は、PCAFデータベースから引用した売上高あたりの地域・セクター別の排出係数を用いて推計。</p> <p>* 寄与度 = 当社グループの貸出残高 / 貸出先の資金調達総額</p> |
| データクオリティスコア                 | 3.6   |
| 基準日                         | <p>貸出残高<br/>2023年3月末時点</p> <p>貸出先の財務データ・排出量データ<br/>2023年3月末時点で当社グループが保有する最新の決算期データ</p>  |
| カバー率<br>(算定先の貸出残高 / 合計貸出残高) | 98.0%   |

| セクター       | CO2排出量 (t-CO2) |
|------------|----------------|
| 石油・ガス      | 107,352        |
| 電力・ユーティリティ | 94,137         |
| 空運         | 34,006         |
| 海運         | 22,366         |
| 陸運         | 254,592        |
| 自動車        | 28,225         |
| 金属・鉱業      | 5,093,569      |
| 化学         | 95,884         |
| 建築資材・資本財   | 249,616        |
| 不動産管理・開発   | 3,665          |
| 飲料・食品      | 2,166,565      |
| 農業         | 17,441         |
| 製紙・林業      | 131,547        |
| その他        | 685,312        |
| 合計         | 8,984,277      |

# 7. これまでのエンゲージメント

## 脱炭素コンサルティング

2021年8月より、脱炭素コンサルティングサービスの提供を開始

- ① GHG排出量の把握(可視化)
- ② 削減目標の設定
- ③ 取組の開示と削減策の実行

サービス開始以降169社と契約を締結

さらに、希望する企業には、  
SBT認定(中小企業版)取得も支援



## 【契約実績(2023年7月末現在)】

|             | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 合計    |
|-------------|--------|--------|--------|-------|
| 脱炭素コンサルティング | 47 件   | 91 件   | 31 件   | 169 件 |
| SBT認定支援     | 2 件    | 43 件   | 36 件   | 81 件  |

# 8. エンゲージメントの進化

## 脱炭素経営移行計画作成支援

2023年2月より提供開始

- ① 2年目以降の排出量算定フォロー
- ② 削減量の確認・削減認定証の交付
- ③ 移行計画策定・進捗レビュー



## GHG排出量マネジメントシステム

2023年8月より提供開始

- ① ダッシュボード機能
- ② 使用量入力機能
- ③ 排出係数機能
- ④ ファイル保存機能

### ①ダッシュボード機能

排出量算定結果をScope別、拠点別、エネルギー別などの観点でグラフ化表示



### ②使用量入力機能

Scope1およびScope2について、使用量を入力することにより、排出係数から排出量算定



### ③排出係数機能

環境省より公表された温対法報告用排出係数を利用可能



### ④ファイル保存機能

使用量の根拠資料など保存可能



継続的なエンゲージメントを実施するため、サービスを高度化

## 9. 今後の取組み

### ファイナンスドエミッションの算定結果を営業部門と共有

- 社内の限られたリソースを有効に活用するため、算定結果を営業部門と共有し、高炭素セクターに優先的にエンゲージメントを実施する
- 高炭素セクター取引先の理解促進のため、業界別のアプローチ方法を検討する

### コンサルティング先の排出量データの活用

- コンサルティング先の排出量データをファイナンスドエミッション算定に活用する
  - 中小企業にも実測値の採用が可能となり、データクオリティが向上する
  - 貸出先の排出量削減がファイナンスドエミッションに反映される

### 排出量削減に向けた具体的な取組みサポート

- コンサルティングの提供だけでなく、排出量削減に向けた施策のサポートを充実させ、企業の取組みを促進する
- 企業の排出量削減への取組みを資金面から支援し、地域の脱炭素化に貢献する